

## 藤田医大病院を洋菓子で応援 豊明の不動産会社社長が寄贈



洋菓子3000個を寄贈した鬼頭社長(左から2人目)と湯沢院長(同3人目)ら＝豊明市の藤田医科大病院で

ースで行われているが、来週からは職域接種も加わって二千人に増えるといい、「陽性患者の入院数が落ち着いた今のうちに多くワクチンを打てば、次の波は抑えられると思う」と話した。(平木友見子)

新型コロナウイルス陽性

患者の受け入れやワクチン接種など最前線で奮闘する藤田医科大病院(豊明市)を応援しようと、同市三崎町の「グレイス不動産」の鬼頭克郎社長(四六)が十六日、同病院を訪れ、洋菓子三千個を寄贈した。

同社は昨年五月、鬼頭社長の両親の希望で、二人の特別定額給付金で菓子を購入し、同病院に寄贈。さらに今年はワクチン接種業務なども担い病院の負担が大きくなっているため、二回

目の寄贈を決めたという。

菓子の包装紙は、社員十人の顔のイラストと感謝の手書きメッセージ入り。鬼頭社長は「コロナ禍でも安心できる環境をつくってもらっているので、少しでも心に残る贈り物にしたかった」と話す。

湯沢由紀夫院長は「みなさんの支援をいただきながら二次感染もなく、こころで頑張っている。応援は励みになる」と感謝。同病院では県の大規模接種が現在、一日千〜千二百人のべ